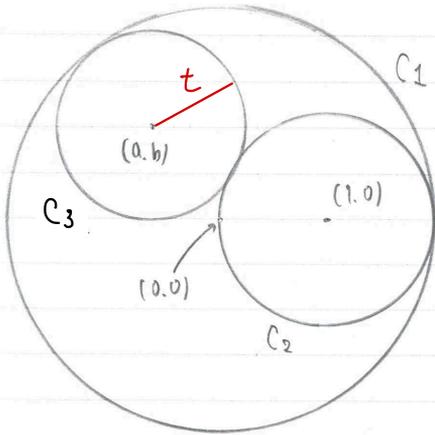


2009年

東大数学

文系第1問



(2) $b = \sqrt{-8t^2 + 8t}$ の最大は
 $-8t^2 + 8t$ の最大の場合と一致する。
 - 言. t の値を入れてみる.
 $-8t^2 + 8t = -8(t - \frac{1}{2})^2 + 2$ より

$0 < t < 1$ の範囲での最大値は $t = \frac{1}{2}$ のとき 2
 である。

よって $b = \sqrt{-8(t - \frac{1}{2})^2 + 2}$ の最大値は

$t = \frac{1}{2}$ のとき $\sqrt{2}$

//

- (1) $\begin{cases} C_1 \text{ の中心は } (0,0) & \text{半径は } 2 \\ C_2 \text{ の } & = (1,0) & \text{半径は } 1 \\ C_3 \text{ の } & = (a,b) & \text{半径は } t \end{cases}$

$\begin{cases} C_1 \text{ と } C_3 \text{ の中心間の距離は } \sqrt{a^2 + b^2} \\ C_2 \text{ と } C_3 \text{ の } & = & \sqrt{(a-1)^2 + b^2} & \text{半径の和} \end{cases}$

$C_1 \text{ と } C_3 \text{ の内接条件より } \sqrt{a^2 + b^2} = |2 - t|$
 $C_2 \text{ と } C_3 \text{ の外接条件より } \sqrt{(a-1)^2 + b^2} = 1 + t$

故に
 解くとき
 t は a, b

それぞれを2乗して $a^2 + b^2 = t^2 - 4t + 4$

$a^2 - 2a + 1 + b^2 = t^2 + 2t + 1$

差をとると $2a - 1 = -6t + 3$

$a = -3t + 2$

$a^2 + b^2 = t^2 - 4t + 4$ に代入して

$b^2 = t^2 - 4t + 4 - (-3t + 2)^2$

$= -8t^2 + 8t$

$\sqrt{\text{の中身}} > 0$

$b > 0$ より $-8t^2 + 8t > 0 \Leftrightarrow 0 < t < 1$

よって $b = \sqrt{-8t^2 + 8t}$

よって $a = -3t + 2$ $b = \sqrt{-8t^2 + 8t}$ t の範囲は $0 < t < 1$ //

半径 R の円の中心間距離が d であるとき

- $\begin{cases} \text{内接条件は } d = |R - r| \\ \text{外接条件は } d = R + r \end{cases}$

才2行

$y = \sqrt{x}$ は単調増加。

つまり、 x が大きくなると $y = \sqrt{x}$ も大きくなる。



よって、 y の Max は x の Max を探せばよい。

よって、

今回は $-8t^2 + 8t$ の Max を計算する。